

準構造船の部材が出土しました！

～垂水南遺跡の発掘調査（垂水町3丁目）～



▲ 豎板(外側)



▲ 豎板(内側)

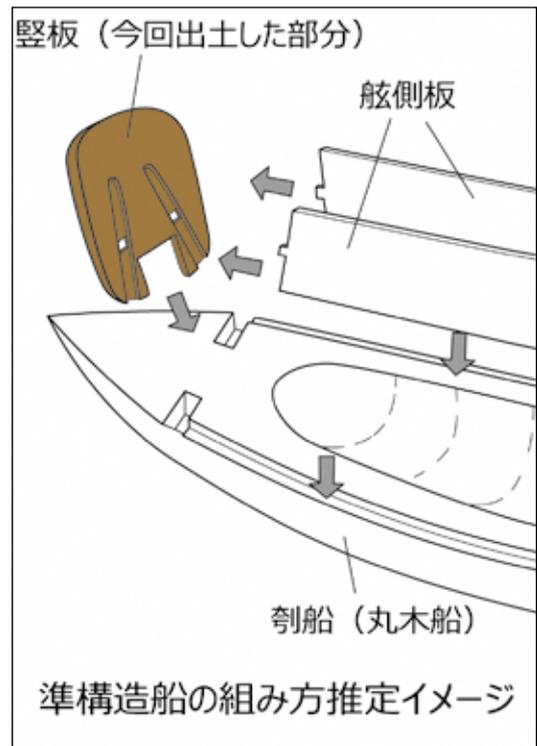
垂水南遺跡は垂水町2丁目・3丁目・江坂町1丁目
一帯に広がる弥生時代から中世にかけての遺跡です。

令和6年（2024年）9月に豊津中学校のエレベーター設置工事に伴って調査を行い、鎌倉時代の畦畔や古墳時代の土器だまり、古墳時代以前のピットを確認しました。古墳時代の土器だまりでは、大量の土師器の他、準構造船の豎板が出土しています。

準構造船とは、刳船（丸木船）を船底に使用し、刳船に複数の部材を組み合わせることで積載量を増やしたものです。

今回出土した豎板は、刳船の両舷側に立てて固定した2枚の板を船首及び船尾で繋ぐ要の部分で、船体の正面からの水の侵入を防ぐ役割もありました。準構造船が出土したことにより、当地の付近にかつて船を利用して暮らしていた人々がいたことがわかりました。

（片岡 啓）



文化財保護の取り組み

文化財保護課では、文化財を保存し未来に継承するための様々な業務をおこなっています。

埋蔵文化財の調査

吹田市内には約150か所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）があります。遺跡は開発等の工事で壊され失われる可能性があるため、遺跡に影響があると判断される工事では発掘調査・試掘調査を、影響がないと予測される場合は工事の際に、立会を行っています。

令和5年度は発掘調査2件、確認調査29件、試掘調査6件、立会122件を実施しました。

史跡等の管理

国史跡七尾瓦窯跡・吉志部瓦窯跡、府史跡吉志部瓦窯跡（工房跡）、吹田須恵器窯跡No.34等公開地および雉子巖碑を管理しており、一般公開しています（常時見学可）。また旧西尾家住宅及び旧中西家住宅の保存活用の取組を行っています（両住宅に関する取組詳細は6・7頁に掲載）。

文化財保存事業補助金の交付

令和5年度は大阪府指定文化財1件、市指定有形民俗文化財3件、市指定無形民俗文化財1件、市地域無形民俗文化財3件の保存事業に補助金を交付しました。その他、市指定有形民俗文化財金田町地車の修理の際には国の補助金を活用しました。

文化財の普及・啓発

令和5年度は「吹田市立博物館周辺の文化財」説明板を博物館敷地内（岸部北4丁目）に設置し、「家形石棺（蓋）」（江坂町3丁目）の説明板を修繕しました。また、発掘調査の成果報告として、『宮之前遺跡B地点発掘調査報告書Ⅰ－宮之前遺跡B地点第1次発掘調査－』を刊行しました。



「吹田市立博物館周辺の文化財」説明板
（新規設置）

*新たに指定・登録された文化財

国重要無形文化財「浪曲語り」

保持者 福本 一光（芸名：京山 幸枝若）氏

今回初めて「浪曲語り」が重要無形文化財として指定され、吹田市在住の福本氏がその保持者として認定されました。

浪曲は浪花節とも呼ばれ、三味線とともに、物語を「節」と「啖呵」で語る芸能です。福本氏は、伝統的な浪曲語りの技法を高度に体現する浪曲師として活躍し、卓越した技量を示すとともに、浪曲の発展及び後進の指導・育成にも尽力しているとして認定されたものです。

国登録記念物（名勝地関係）

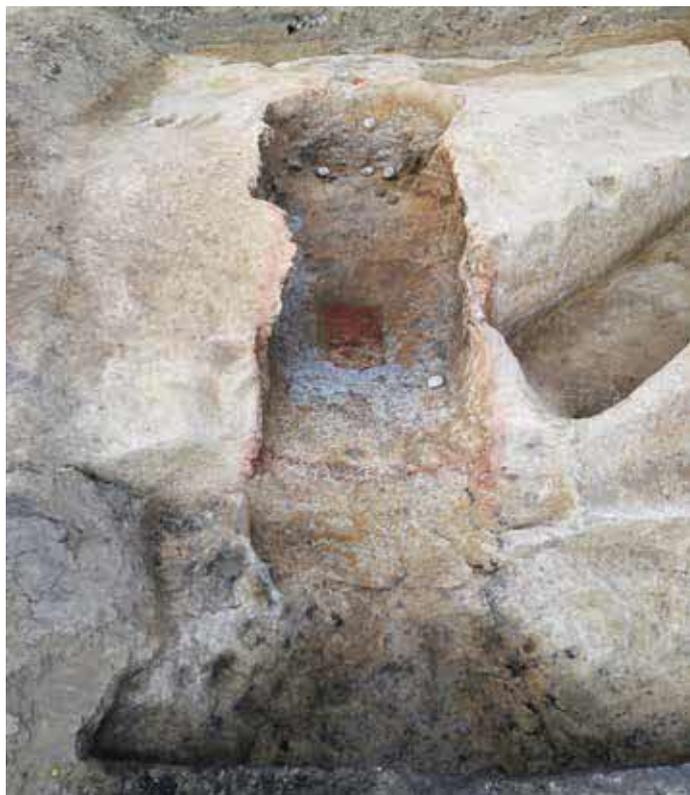
日本万国博覧会記念公園日本庭園

昭和45年（1970年）の日本万国博覧会で政府出展施設として整備された日本庭園は、万国博覧会のテーマである「人類の進歩と調和」を表現し、造園文化の発展に寄与した意義深い事例であるとして評価されました。

今回の指定・登録により、市内の国重要無形文化財保持者は2件、国登録記念物（名勝地関係）は3件、国・府・市の指定・登録文化財は合計57件となりました。

（猪股 文京）

吹田須恵器窯跡No.14・No.15の発掘調査(原町2丁目)



▲吹田須恵器窯跡No.14(南から)

吹田市内には古墳時代に須恵器を生産した窯跡が56か所で発見されており、これらの分布する地域を吹田須恵器窯跡群といいます。5世紀初頭に千里丘陵最古の窯が築かれて以後、吹田市域では6世紀から7世紀にかけて群集して構築されるようになりました。

吹田須恵器窯跡No.14・No.15は原町2丁目の宮の谷という小さな谷の最奥部に位置しており、昭和30年代に行われた宅地造成工事の際に発見された遺跡です。開発に伴い令和5年(2023年)10月から12月にかけて窯体と灰原について発掘調査を実施しました。

No.14については、以前の宅地造成工事により窯体の上部は破壊されていましたが、焼成部・燃焼部などの窯体の下部は、窯壁の一部が天井近くまで残り、灰原も広範囲に展開するなど、良好な状態で残っていました。

またNo.15は、No.14の西側で遺物や窯壁塊が出土する灰原が発見され、その存在は知られていましたが、窯体そのものは確認されていませんでした。今回の発掘調査では、発見のきっかけ



▲吹田須恵器窯跡No.15(南から)

となった灰原は残っていませんでしたが、No.14同様、窯体の下部(焼成部)の遺存が確認され、窯壁の一部が天井近くまで達するなど良好な状態で残っていました。

当初の発見時に採集した須恵器により、吹田における須恵器の生産が最盛期だった6世紀後半に操業された窯であることが知られていましたが、今回の調査で、両窯の窯体の構造等についても明らかにすることができました。(田中 充徳)



▲窯体の床から出土した須恵器

高畑遺跡の発掘調査 (昭和町)

高畑^{たかほたけ}遺跡は、昭和町に展開する古墳時代と中世の集落遺跡です。令和5年度に遺跡の北側隣接地において実施した試掘調査で、古墳時代のピットが確認され、遺跡の範囲がこれまでよりも北側に広がることが分かってきました。

今回の調査は個人住宅建築工事に伴うもので、令和6年(2024年)8月に、遺跡内の北側において実施しました。調査では地表下約30cmの黄色粘土層の上面でピット(小規模な穴)が合計23か所認められました。限

られた範囲の調査だったため、どのような遺構だったのか詳細についてはできませんでしたが、ピットから古墳時代の土師器・須恵器の高坏^{たかつき}などが出土しました。

今回、確認したピットは、古墳時代の建物か柵等の遺構の一部の可能性があり、当地にも古墳時代の集落跡の一部が展開していることを追認することができました。

(片岡 啓)



▲全景(東から)



▲全景(西から)



▲須恵器出土状況(南から)

垂水南遺跡の発掘調査 (垂水町3丁目)

令和6年（2024年）3～6月にかけて発掘調査を行い、その結果、古墳時代から平安時代にわたる3面の遺構面を検出し、土器や石製品・木製品など多くの遺物が出土しました。



▲第1面の溝と足跡群

第1面では、平安時代の溝と足跡群を検出しました。溝は最大幅1.4m、深さ23cmで、北から東へ若干傾く南北方向に延びていました。これは平安時代以降に吹田市西部から豊中市にかけて施行された豊嶋郡条里の方位とほぼ一致していました。内部に水が流れた痕跡があり、排水路のような役目で掘られたと考えられます。

第2面と第3面では、古墳時代の落込み、水田畦畔、溝、土器群を検出し、多くの土器



▲第3面の祭祀を行った土器群



▲第3面の落込みと遺構

類が出土しました。落込みの肩では、古墳時代前期（4世紀）の土器群が出土しました。土師器の壺や高杯は当時の生活面に立ったままの状態が出土し、壺は銅鏡を模した石製品「有孔円板」を敷いてその上に立てていました（下の写真、赤矢印の壺）。このことから単なる土器の廃棄場ではなく、ここで祭祀を執り行った跡とみられます。落込み埋土からも多くの古墳時代の土師器や須恵器の他、勾玉・管玉などの玉類、有孔円板などの石製品、それに朝鮮半島からの渡来人が携えて来たとみられる韓式系土器も多数出土しました。

溝は最大幅5.0m、深さ70cmほどで、北西から南東に向かって真っすぐに伸びていました。内部に水が流れた痕跡があり、水路のように利用されたとみられます。この溝からは古墳時代の土師器に混じって、弥生土器も出土しました。（堀口健二）

旧西尾家住宅・旧中西家住宅の保存活用 ～令和6年(2024年)の取組を中心に～

旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)

*国指定重要文化財、国登録記念物(名勝地関係)

はじめに 吹田市が文化財保護法に規定される管理団体として保存のために必要な管理を行っている重要文化財旧西尾家住宅では、令和2年(2020年)度から国庫補助事業として保存修理・耐震対策工事を実施しています。

令和3年(2021年)度に外塀(鉄筋コンクリート塀)の部分修理・耐震対策工事が完了し、令和4年(2022年)度からは、I期工事として主屋、米蔵、納屋(米蔵北)、納屋(北東)、外塀(旧蔵納屋外壁)の工事を行っています。

工事の進捗状況 令和6年度(2024年度)の工事の中で、耐震対策の一環として主屋地下全体に鉄筋コンクリート基礎を設置する工事を実施しますが、その工事を行うため、主屋の建物全体をジャッキアップしました。

建物の一部を集中的にジャッキアップするとひずみが生じてしまうため、建物全体にバランスよく荷重をかけることに配慮しながら約10日間かけて慎重に地上1.35mの高さまで持ち上げました。(なお、吹田市公式YouTubeチャンネルにおいて、ジャッキアップの様子を記録した動画を公開していますので、ぜひご覧ください。)

建物を持ち上げた後には、礎石の解体作業を行いました。礎石の下から、予期せず大きな石(根石)が発見され、しかもその一部はコンクリートの基礎の上に据えられてがっちりと固定されていることがわかりました。

主屋は明治中期に建てられた建物であり、当時はまだコンクリート技術が導入されなかりの黎明期であるため、コンクリートは希少性が高く、非常に高価だったことを考えると、建物を堅固にしたいという当代(第11代)の強い意志を感じるができる工法で

あったため、一つ一つ丁寧に調査・記録していきました。

なお、コンクリートは撤去しますが、根石は新しく作るコンクリート基礎に据えつけ、元の場所に復す予定です。



▲ジャッキアップした主屋



▲根石とコンクリート基礎



▲棟梁が下屋の垂木の補修作業を行っている様子

今後の工事について 主屋の基礎工事を進め、令和7年（2025年）にはジャッキダウンを行う予定です。ジャッキダウンを行う際には、すべての柱のホゾを礎石のホゾ穴へ同時に入れ込まなくてはならず、ジャッキアップ時以上に精度の高い作業を行う必要があります。

ジャッキダウン後は、屋根や床等の復旧等を行います。また、その他の建物についても復旧の工事を行っていきます。

I期工事が終了した後は、II期工事として積翠庵（茶室）や離れ等の保存修理工事を行うことを計画しています。

併せて、防災施設の整備や修理後の公開活用に向けた整備工事も行っていく予定です。

引き続き、旧西尾家住宅の保存・活用の取組に対し、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。（旧西尾家住宅大規模修繕基金への寄附も募集しています！）

（立岡宏美）

★修理工事現場見学会を開催★

修理工事エリアについては、普段は安全のため非公開としていますが、今しか見ることのできない旧西尾家住宅の姿をご覧いただくため、I期工事の施工業者である株式会社中島工務店と工事監理を行う一般財団法人建築研究協会のご協力のもと、昨年引き続き修理工事現場見学会を開催しました。令和6年10月26日・27日の2日間で97名の方にご参加いただきました。



小学生のお子さんも参加してくれました ^^

旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館） *吹田市指定有形文化財、国登録有形文化財、国登録記念物（名勝地関係）

春・秋の特別公開 令和6年（2024年）3月30日から4月7日にかけて春の特別公開を開催し、普段は非公開の襖絵などを公開。今年は桜の開花が遅く満開になりませんでした。期間中177名の方が来館されました。

また、令和6年（2024年）11月23日～12月1日には、秋の特別公開を開催。秋に染まる庭園や江戸時代の人気絵師の掛軸などの見学に227名の方が来館されました。



▲秋に染まる庭園

はじめよう、文化財の活用（文活） 文活は、公益財団法人大阪府建築士会が主催する取組で、毎回異なる国登録有形文化財などを会場に、ワークショップや建物見学、まち歩きなどを行っています。

令和6年（2024年）1月21日に実施された令和5年度第3回の講座は、本市教育委員会との共催事業として、当住宅を会場に開催。

『大庄屋屋敷×煎茶と文人の文化 集って交わす「煎茶」のたのしみ』をテーマとした講演等が行われ、江戸時代から代々煎茶を愛好した中西家にふさわしい内容で、多数の参加者に好評を博しました。

上記以外にも、通年、一般公開を行っており、四季折々に変化する庭園や江戸後期の^{やしきがま}大庄屋の屋敷構えなどの見学を楽しんでいただきました。

（旧中西家住宅館長 松本仲雄）

特別企画「むかしのくらしと学校」展

●● イベントの案内 ●●

◇子供体験講座◇

「ミニチュア銅鏡づくり」

日時／令和7年1月25日(土)
午前10時～12時
午後1時30分～3時30分
講師／博物館学芸員・博物館ボランティア
内容／五反島遺跡出土の銅鏡の3分の1ミニチュアを作ります。
場所／講座室
定員／午前・午後の部とも各10名
対象／小学3年生～中学生
(小学生の場合は保護者同伴)
申込／1月14日(火) 必着

◇子供体験講座◇

「手づくりおもちゃ教室」

日時／令和7年2月23日(日・祝)
午前10時～12時
午後1時30分～3時30分
講師／心のふれあいSA吹田おもちゃ部会の皆さん
内容／昔の遊び道具と牛乳パックや身の回りにある材料を使っておもちゃ作りをします。
場所／講座室
定員／午前・午後の部とも各20名
対象／5歳～中学生
申込／2月11日(火) 必着

◆親子体験講座◆

「大昔のアクセサリー～まが玉づくり～」

日時／令和7年2月1日(土)
午前10時～12時
(受付開始は、午後9時30分から)
午後1時30分～3時30分
(受付開始は、午後1時から)
講師／博物館学芸員・博物館ボランティア
内容／ろう石を削ったり、磨いたりして大昔のアクセサリーまが玉を作ります。
場所／講座室
定員／午前・午後の部とも当日先着各40名
対象／小学生・中学生・保護者

◆親子体験講座◆

「昔のあかりと火おこし体験」

日時／令和7年3月1日(土)
午前10時～12時
午後1時30分～3時30分
講師／博物館学芸員・博物館ボランティア
内容／ろうそく、行灯、石油ランプなど、昔のあかりを学習し、火打ち石やまいきり等の火おこしを体験します。
場所／講座室(火おこしは屋外)
定員／午前・午後の部とも各20名
対象／小学生・中学生・保護者
申込／2月18日(火) 必着

◇子供体験講座◇

「手づくりおひな様」

日時／令和7年2月2日(日)
午後1時30分～3時30分
講師／エコおもちゃ作り市民塾の皆さん
内容／和紙、木材等を使って作ります。
場所／講座室
定員／20名
対象／小学生以上
申込／1月21日(火) 必着

ワークショップ

「マリオネット操り講座(操り人形)」

日時／令和7年3月8日(土)
午後2時～3時30分
(受付開始は、午後1時から)
講師／山下恵子氏、柿本香苗氏、藤本真由美氏
内容／実演を見たあと、マリオネットを操ってみます。
場所／講座室
定員／当日先着18名
対象／小学生以上(小学生は保護者同伴)

ワークショップ

「簡単マリオネット(操り人形)ワークショップ～作って遊ぼう」

日時／令和7年2月22日(土)
午後1時30分～4時
(受付開始は、午後0時30分から)
講師／山下恵子氏、柿本香苗氏、藤本真由美氏
内容／紙コップとたこ糸で簡単なマリオネットを作って遊びます。
場所／講座室
定員／当日先着18名
対象／小学生以上(小学生は保護者同伴)

◆親子体験講座◆

「昔は草木で染めたんだあー草木染め体験」

日時／令和7年3月15日(土)
午後2時～4時
講師／博物館ボランティア
内容／紫金山公園の自然の草木を使って色を取り出し、どのように染まるかを体験します。
場所／講座室
定員／20名
対象／小学生・中学生・保護者
申込／3月4日(火) 必着

■ 申込方法 ■

はがきかFAXに、講座名、希望の時間帯、参加者全員(付き添いを含む)の名前(ふりがな)、郵便番号、住所、学年、電話番号を書いて博物館まで。吹田市役所ホームページの電子申込システム(12月1日から受付)からも応募できます。

※申込多数の場合は抽選になります。

吹田市立博物館だより第100号 令和6年(2024年)12月27日発行 発行:吹田市立博物館
〒564-0001 吹田市岸部北4丁目10番1号 TEL 06 (6338) 5500 FAX 06 (6338) 9886
URL <https://www.city.suita.osaka.jp/museum/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



この冊子は1,700部作成し、1部あたりの単価は52.8円です。森林認証紙と植物油インキを使用しています。